



平成 22 年 2 月号



# 概況

---

最近の県内経済は、個人消費や生産活動の一部に上向きの動きがみられるものの、全体としては厳しい状況が続いている。

まず、個人消費関連をみると、大型小売店販売は、17ヶ月連続のマイナスとなった。自動車販売は、登録車、届出車ともにプラスとなり、5ヶ月連続のプラスとなった。

住宅建設は、分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加し、9ヶ月ぶりのプラスとなった。公共投資は、全ての発注体で増加し、前年同月を上回った。

生産関連の動きをみると、一般機械は在庫調整の進捗や新興国向け需要の回復などから、生産が増加しているほか、食料品で底堅い動きが続いている。鉄鋼はフェロニッケルで減産を緩和している一方、棒鋼は減産が続いている。一次産業関連では、21年産県産米「つがるロマン」の卸売価格が前年同月比幾分低下した。21年県産リンゴ販売は消費地市場価格が上昇し、県外市場販売額は前年を上回った。八戸港水揚げは数量、金額とも増加した。

この間の雇用情勢は、有効求人倍率が前月比0.01ポイント上昇し0.30倍と2ヶ月連続で微増となったものの、新規求人数が大幅に減少するなど、依然として厳しい状況が続いている。

## ○個人消費

12月の**大型小売店販売額**は、前年同月比4.8%減(速報ベース、店舗調整後)と17ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同5.6%減と39ヶ月連続のマイナス、スーパーは同4.4%減と12ヶ月連続のマイナスとなった。

12月の**自動車販売台数**は、登録車、届出車(軽自動車)合計が前年同月比24.0%増と5ヶ月連続のプラスとなった。内訳別にみると、登録車は、普通・小型乗用車、貨物車がプラスとなり6ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、貨物車がマイナスとなったものの、乗用車がプラスに転じ、14ヶ月ぶりのプラスとなった。

## ○住宅投資

12月の**新設住宅着工戸数**は、分譲住宅が減少したものの、持家、貸家が増加し、全体では前年同月比6.9%増の606戸と9ヶ月ぶりのプラスとなった。

## ○公共投資

12月の**公共工事請負額**は、前年同月比27.1%増の98億7,200万円となった。国が同3.2%増、独立行政法人等が同125.6%増、県が同38.1%増、市町村が同24.1%増と全ての発注体で増加した。

## ○一次産業

**21年産県産米**「つがるロマン」の卸売価格(農林水産省調査、21年12月分)は前年同月比1.9%低下の3,333円/10kgとなった。12月の**21年県産リンゴ販売**は県外出荷量が前年同月比1.2%減となったものの、消費地市場価格が同3.0%上昇し、県外市場販売額は同2.9%増となった。12月の**八戸港水揚げ**は、数量が前年同月比13.8%増、金額が同5.5%増と、数量、金額とも前年同月を上回った。

## ○生産活動

11月の**鉱工業生産指数**(季節調整値)は、前月比4.3%上昇の98.0となった。原指数をみると、全体では前年同月比1.3%低下の98.8となった。一般機械は在庫調整の進捗や新興国向け需要の回復などを背景に生産は増加している。食料品は水産加工で底堅い動きが続いている。鉄鋼はフェロニッケルが減産を緩和している一方、棒鋼は国内需要の減少から減産が続いている。

# 一 次 産 業

## 米

### ☆「つがるロマン」の卸売価格、前年同月比 1.9%低下

農林水産省が発表した21年産米穀卸売価格調査結果の概要（21年12月分）によると、公表21銘柄のうち県産米の「つがるロマン」の卸売価格は、前月比0.2%上昇、前年同月比1.9%低下の3,333円/10kgとなった。21年産米の卸売価格は前年同月比で、公表21銘柄のうち19銘柄が値下がりし、上昇したのは「北海道きらら397」、「富山コシヒカリ」の2銘柄のみであった。下落率が大きかった銘柄は、「新潟コシヒカリ（魚沼産）」の▲3.5%、「新潟コシヒカリ（一般）」の▲3.2%、「福島コシヒカリ（会津）」の▲3.1%などであった。

農林水産省が発表した「平成20年農業産出額」によると、青森県の米の産出額は576億円で本県の農業産出額全体（2,828億円）の20.4%を占めている。

### 平成21年産米(県産米及び東北・北海道主要銘柄)の卸売価格の推移

(単位:円/10kg、包装・消費税込み)

産地	銘柄	21年 10月	21年 11月	21年 12月	20年 12月	前年同月比 %
青森	つがるロマン	3,367	3,326	3,333	3,399	▲ 1.9
秋田	あきたこまち	3,593	3,593	3,598	3,610	▲ 0.3
岩手	ひとめぼれ	3,527	3,507	3,504	3,574	▲ 2.0
宮城	ひとめぼれ	3,599	3,600	3,592	3,612	▲ 0.6
山形	はえぬき	3,452	3,423	3,427	3,500	▲ 2.1
福島	ひとめぼれ	3,464	3,455	3,462	3,513	▲ 1.5
新潟一般	コシヒカリ	4,012	4,021	4,023	4,155	▲ 3.2
北海道	きらら397	3,209	3,266	3,276	3,262	0.4

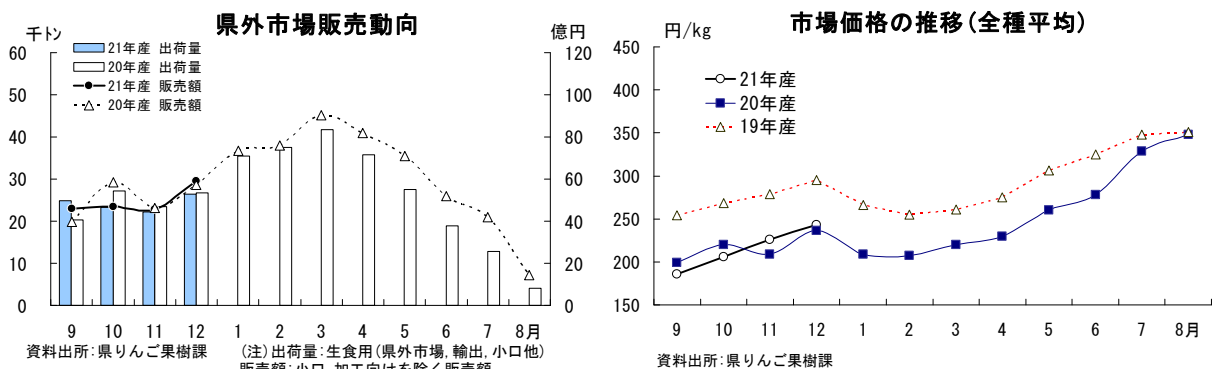
資料出所:農林水産省

## りんご

### ☆県外市場販売額、前年同月比 2.9%増

21年県産りんご販売、12月の県外出荷量は前年同月比1.2%減の2万6,377トンとなった。これは前3ヶ年の12月平均出荷量を4.5%下回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比22.3%上昇、前3ヶ年比較で11.9%低下の126円/kgとなった。一方、消費地市場価格は前年同月比3.0%上昇、前3ヶ年比較で11.3%低下の243円/kgとなった。消費地市場価格の品種別内訳をみると、「ふじ」が前年同月比2.2%上昇の235円/kg、「ジョナゴールド」が同9.7%上昇の260円/kg、「王林」が同8.5%上昇の242円/kgとなった。この結果、12月の県外市場販売額は同2.9%増の58億9,500万円となった。

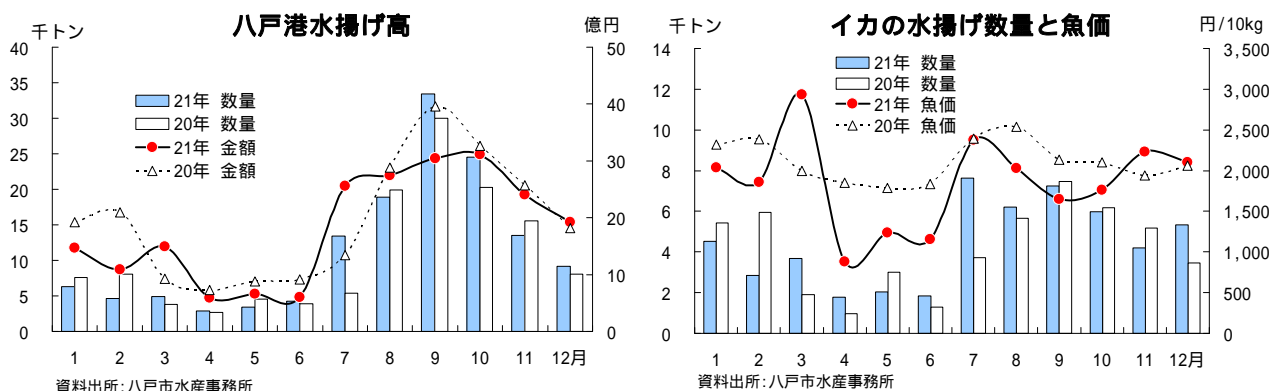
景気低迷により果実の販売環境が厳しくなっている中、21年県産りんごは品質が良好であり、贈答需要により引き合いが強かったことなどから、市場価格は前年を上回る動きとなった。



## 八戸港水揚げ

## イカ釣り漁が好調、数量、金額とも前年同月比増

12月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比13.8%増の9,122トン、金額は同5.5%増の19億2,052万円となった。うちイカ釣り漁は、数量が同53.9%増の5,325トン、金額は同56.8%増の11億1,910万円、イカの平均単価は、同1.9%上昇の2,102円/10kgとなった。内訳をみると、近海スルメイカが数量で同約2倍、金額で同約2.2倍、アメリカオオアカイカが数量で同約2.6倍、金額で同約2.2倍とそれぞれ大幅に増加したほか、船凍スルメイカも数量で同17.9%増、金額で同30.7%増となった。このほか、大中型旋網漁は、前沖サバが昨年より早く南下し、数量が同84.7%減の63トン、金額は同81.0%減の679万円と大幅に減少した。機船底引き網漁は、生スルメイカやキンキ、メヌケなど赤物中心の水揚げとなったが、シケの日が多かったことから、数量が同17.6%減の2,337トン、金額は23.0%減の5億4,816万円と振るわなかった。



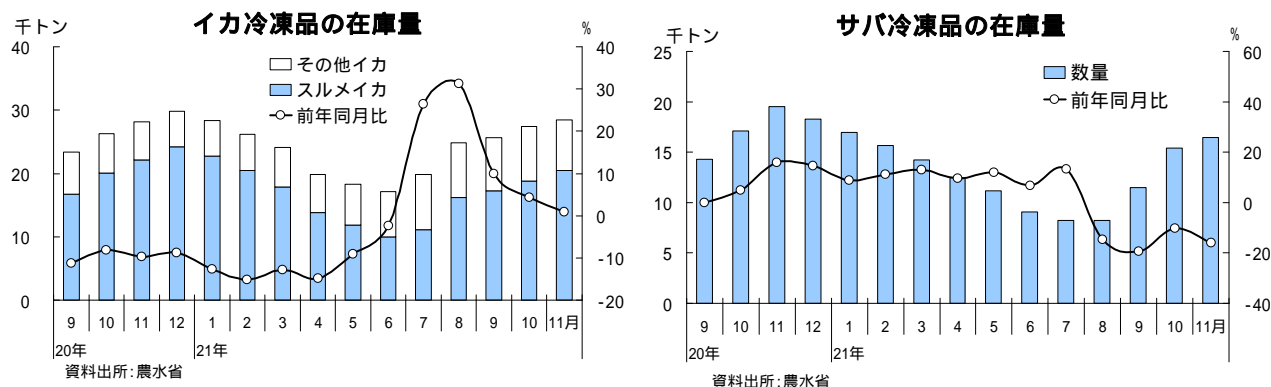
## 二次産業

### 水産加工

### イカ冷凍品在庫量、5ヶ月連続のプラス

11月の八戸地区イカ冷凍品在庫量は、スルメイカが幾分前年を下回ったものの、全体では前年同月比0.9%増の2万8,442トンとなり、5ヶ月連続で前年同月を上回った。一方、サバ冷凍品在庫量は、同15.9%減の1万6,437トンと4ヶ月連続で前年同月を下回った。

12月の加工品の動きをみると、イカ製品は、一夜干し、開きイカなどのスルメイカ加工品が堅調な荷動きとなったほか、塩辛などの珍味類は順調な荷動きが続いている。また、イカ冷凍品は加工向けに引き合いが強まった。一方、サバ製品は、年末にかけてサバ製品の需要が高まり、活発な操業が続いた。冷凍品は輸出が伸び悩んでいるものの、生食用の船凍サバが強い引き合いとなっている。

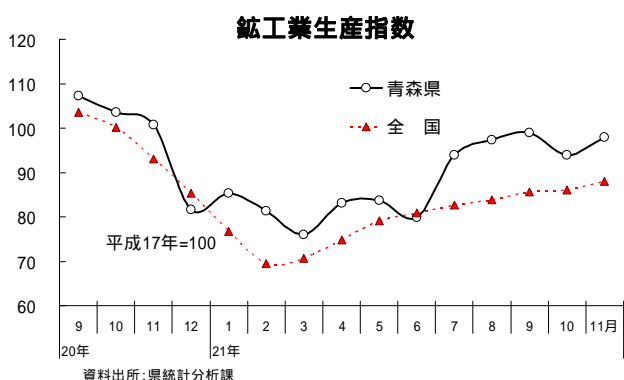


## 鉱工業生産

### ☆ 季節調整済指数、前月比 4.3%上昇の 98.0

11月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、平成17年=100)は、前月比4.3%上昇の98.0となった。主要6業種をみると、ウエートの高い食料品が同5.5%、一般機械が同8.6%、パルプ・紙が同13.5%それぞれ上昇した。一方、電子部品・デバイスは同3.6%、鉄鋼は同14.4%、電気機械は同27.3%それぞれ低下した。このほかでは、金属製品が同20.5%、窯業・土石が同4.5%それぞれ上昇し、化学は同2.1%低下した。原指数でみると全体では前年同月比1.3%低下の98.8となった。

一般機械は在庫調整の進捗や新興国向け需要の回復などを背景に生産は増加している。食料品は内食化や国産品志向などの動きを受け、水産加工で底堅い動きが続いている。鉄鋼はフェロニッケルが東アジアの需要持ち直しなどを背景に減産を緩和している一方、棒鋼は国内需要の減少から減産が続いている。



業種別生産指数(平成21年11月)

業種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原指数	
	平成17年=100	前月比(%)	平成17年=100	前年同月比(%)
鉱工業 (10000.0)	98.0	4.3	98.8	1.3
食料品 (2249.0)	101.1	5.5	112.4	5.3
一般機械 (1254.7)	124.0	8.6	124.2	25.6
電子部品・デバイス (1106.8)	99.8	3.6	98.2	8.0
鉄鋼 (1008.6)	67.1	14.4	63.1	3.1
パルプ・紙 (807.5)	92.7	13.5	94.7	8.4
電気機械 (550.4)	104.9	27.3	96.8	23.7

資料出所: 県統計分析課

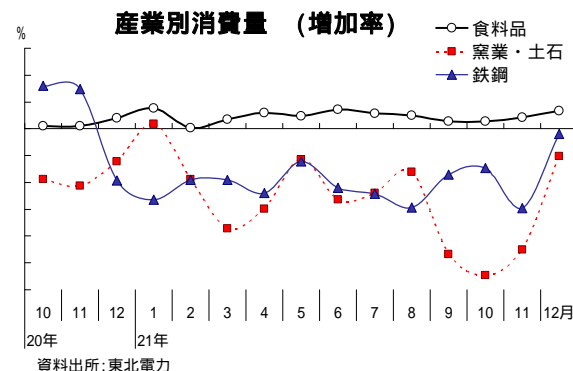
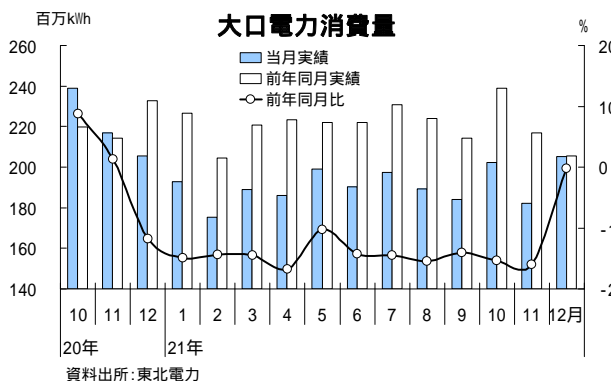
## 大口電力

### ☆ 製造業の大口電力消費量、13ヶ月連続マイナス

12月の県内大口電力消費量は、前年同月比0.2%減の2億505万kWhとほぼ前年並みとなった。うち製造業は同0.4%減の1億4,317万kWhと13ヶ月連続のマイナスとなった。

製造業の大口電力消費量を主要業種別にみると、食料品が同6.7%増となったものの、窯業・土石は同10.3%減、消費ウエートの高い鉄鋼は同1.8%減とそれぞれ前年同月を下回った。このほかでは、パルプ・紙が同20.5%増、非鉄金属が同6.1%増、機械が同0.1%増となったものの、化学は同2.6%減、繊維は同8.4%減とそれぞれ前年同月を下回った。

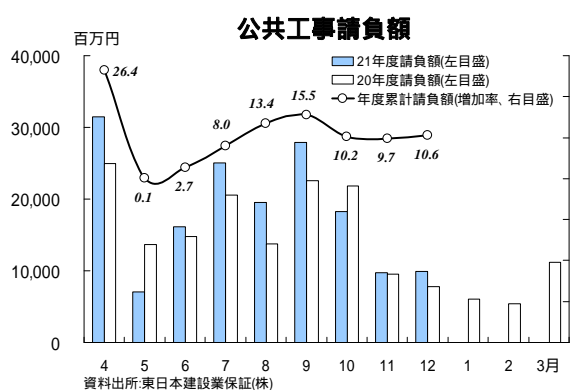
県内の大口電力消費量をみると、食料品で底堅い操業が続いているほか、パルプ・紙、非鉄金属などの操業に幾分上向きの動きがうかがわれる。



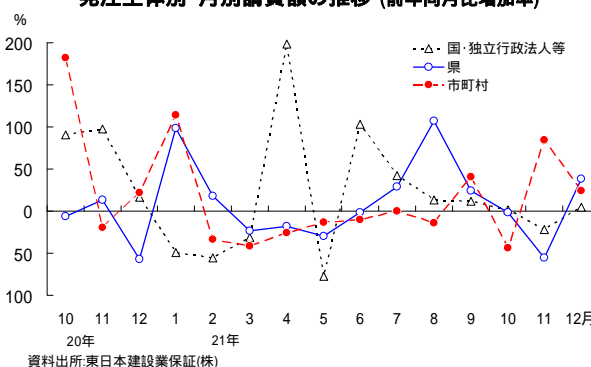
## 公共工事

### 公共工事請負額、前年同期比 27.1%増

12月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比 27.1%増の 98 億 7,200 万円となった。当月の請負額は、国が国土交通省の増加により同 3.2%増の 15 億 4,500 万円、独立行政法人等が弘前大学関連、都市再生機構の増加により同 125.6%増の 5,200 万円、ウエートの高い県が上北地域県民局、下北地域県民局などの増加により同 38.1%増の 36 億 500 万円、市町村が青森市、六ヶ所村などの増加により同 24.1%増の 41 億 2,700 万円となり、全ての発注体で増加した。この結果、平成 21 年度の累計工事請負額(4～12月)は前年同期比 10.6%増の 1,651 億 5,700 万円となった。内訳別にみると、市町村が同 6.2%減となっているものの、国は同 29.2%増、独立行政法人等は同 29.2%増、県は同 8.8%増と前年同期をそれぞれ上回っている。



発注主体別・月別請負額の推移 (前年同月比増加率)

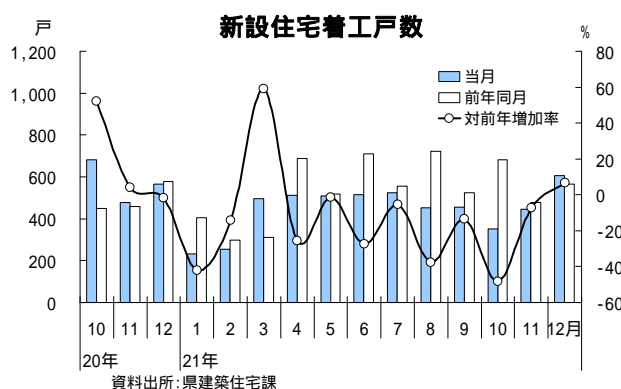


## 住宅着工

### 平成 21 年累計着工戸数、前年比 17.1%減の 5,356 戸

12月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比 6.9%増の 606 戸と 9ヶ月ぶりのプラスとなった。利用関係別では、分譲住宅が同 58.8%減となったものの、持家は同 39.1%増、貸家は同 4.4%増となった。地域別にみると、八戸市、むつ市、郡部で大幅に増加したほか、黒石市、三沢市で幾分増加した。一方、青森市、弘前市、五所川原市、十和田市で大幅に減少したほか、平川市で幾分減少し、つがる市は全減となった。分譲住宅は弘前市で大幅に減少した。持家は青森市、八戸市、三沢市などで増加した。貸家は青森市、五所川原市、十和田市、三沢市で減少したものの、六ヶ所村が 100 戸増となり郡部で大幅に増加したほか、八戸市、むつ市で増加した。

平成 21 年の年間累計着工戸数は前年比 17.1%減の 5,356 戸と 6 千戸を大幅に下回った。前年実績を上回った月は 2 回（3月、12月）にとどまり、年間を通じて低調に推移した。



利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	21年 12月	20年 12月	前年 同月比
持家	217	156	39.1
貸家	357	342	4.4
給与住宅	4	1	300.0
分譲住宅	28	68	58.8
総戸数	606	567	6.9

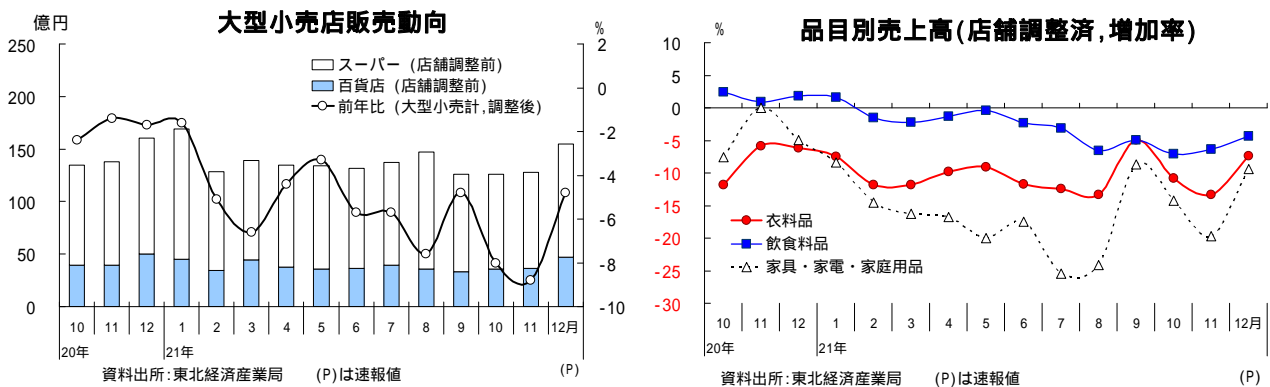
資料出所: 県建築住宅課

## 三次産業

### 大型小売店販売

### 大型小売店販売、17ヶ月連続のマイナス

12月の県内大型小売店販売額は、前年同月比4.8%減(速報ベース、店舗調整後)と17ヶ月連続のマイナスとなった。業態別では百貨店が同5.6%減と39ヶ月連続のマイナス、スーパーは同4.4%減と12ヶ月連続のマイナスとなった。品目別では、衣料品が同7.4%減、ウエートの高い飲食料品が同4.3%減、家具・家電・家庭用品が同9.4%減、身の回り品が同7.2%減となった。衣料品は冬物衣料が全体に不振であった。飲食料品はクリスマス関連で動きがみられたものの、歳暮ギフトが振るわなかった。家具・家電・家庭用品は、薄型テレビや冷蔵庫などのエコポイント商品が好調に推移しているものの、全体に売上げが振るわず前年を下回る動きとなった。身の回り品は海外ブランドなど高額商品が引き続き不振で前年を下回った。

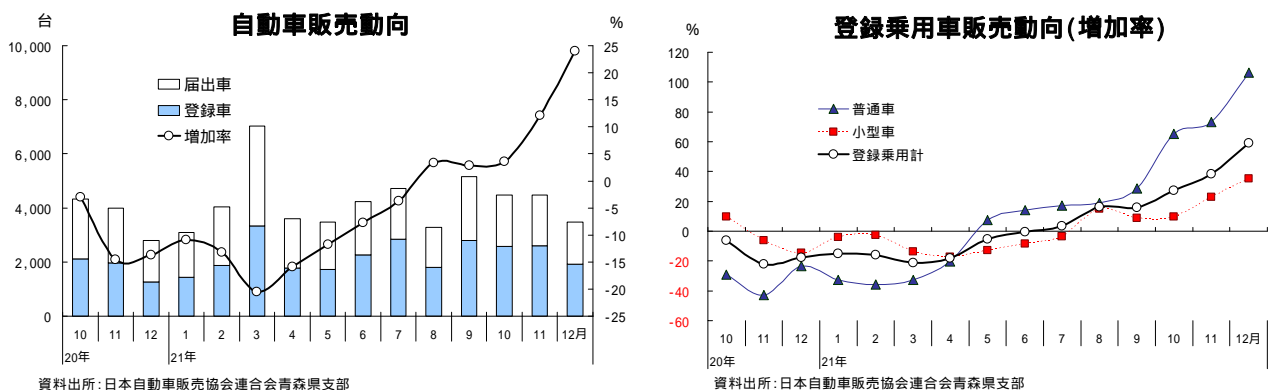


### 自動車販売

### 前年同月比24.0%増、登録乗用車が大幅増加

12月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比24.0%増の3,481台と大幅に増加し、5ヶ月連続のプラスとなった。内訳別にみると、登録車は、普通乗用車が同106.3%増、小型乗用車が同35.3%増となったほか、貨物車も同16.4%増と22ヶ月ぶりのプラスとなった。この結果、登録車合計では同51.3%増と大幅に増加し、6ヶ月連続のプラスとなった。届出車は、貨物車が同2.1%減となったものの、乗用車は同2.9%増と17ヶ月ぶりのプラスとなり、届出車合計では同1.4%増と14ヶ月ぶりのプラスとなった。届出車を含む乗用車については、登録乗用車合計が同59.0%増となり、全体では同30.8%増と5ヶ月連続のプラスとなった。

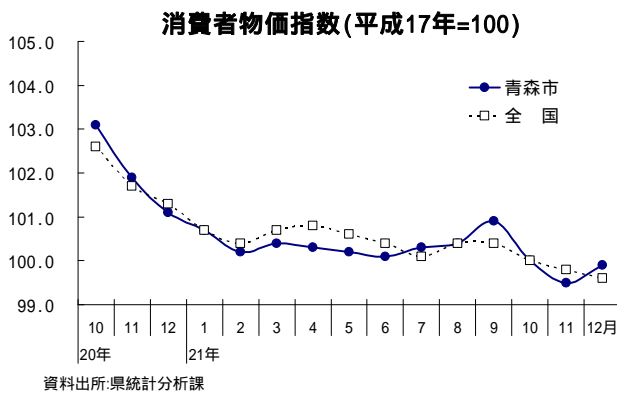
なお、平成21年の年間販売台数は、登録車が前年比0.8%減、届出車が同10.0%減となり、全体では同5.4%減となった。



消費者物価指数

前月比 0.4%上昇、前年同月比 1.2%下落

12月の青森市の消費者物価指数(平成17年=100,速報値)は99.9となり、前月比0.4%上昇、前年同月比1.2%下落となった。主要費目別に前月と比べると、「光熱・水道」が灯油などの値上がりにより1.4%、「保健医療」が医薬品などの値上がりにより0.9%、「食料」が生鮮果物などの値上がりにより0.8%それぞれ上昇した。一方、「家具・家事用品」は家事用消耗品や教養娯楽用耐久財などの値下がりにより1.8%、「被服及び履物」はシャツ・セーター・下着類などの値下がりにより0.8%それぞれ下落した。前年同月との比較では、「家具・家事用品」(2.8%)、「光熱・水道」(2.6%)、「食料」(1.6%)、「教養娯楽」(1.6%)などの変動が大きかった。なお、「生鮮食品を除く総合指数」は100.1となり、前月比0.2%上昇、前年同月比0.9%下落となった。



費目別指数の動き(平成21年12月)

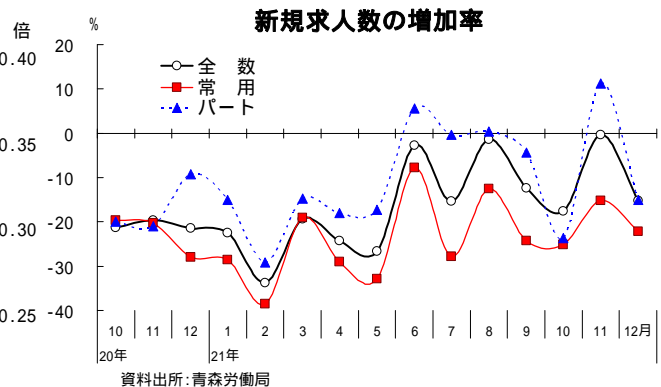
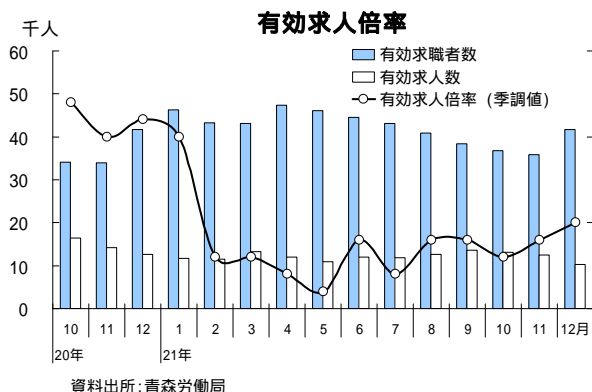
	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	99.9	0.4	1.2
食料	101.5	0.8	1.6
住居	98.8	0.0	0.6
光熱・水道	105.8	1.4	2.6
家具・家事用品	93.5	1.8	2.8
被服及び履物	102.2	0.8	1.4
保健医療	97.9	0.9	0.3
交通・通信	98.7	0.3	0.5
教育	102.1	0.0	0.4
教養娯楽	93.1	0.3	1.6
諸雑費	101.3	0.0	0.6

資料出所:県統計分析課

雇用動向

新規求人数、前年同月比 15.2%減、依然として厳しい状況

12月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比17.9%減の1万316人、有効求職者数が同0.2%増の4万1,718人となった。この結果、有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.01ポイント上昇の0.30倍となった。新規求人の動きをみると、臨時季節求人数が前年同月比34.1%増となったものの、常用求人数は同22.2%減、パート求人数は同15.0%減となり、全数では同15.2%減となった。主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、卸売業、不動産業、教育・学習支援業などで増加した一方、建設業、情報通信業、運輸業、小売業などで大幅に減少した。製造業は電子部品・デバイス、電気機械、情報通信機械などで増加したものの、食料品、金属製品などで大幅に減少し、全体では幾分減少した。県内の雇用情勢は有効求人倍率が2ヶ月連続で微増となったものの、新規求人数は大幅に減少するなど、依然として厳しい状況が続いている。

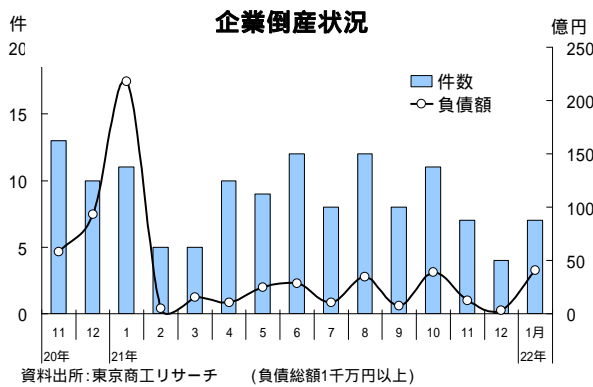


## 企業倒産

### 大型倒産が負債総額を押し上げたものの、倒産件数は小康状態

1月の県内企業倒産は、件数が前年同月比4件減の7件、負債総額は同177億1,700万円減の40億5,100万円となった。前月比では、件数が3件増、負債総額は37億2,700万円増となった。倒産の内訳をみると、業種別では建設業が3件、製造業、卸売業、小売業、サービス業が各1件となった。地域別では青森市、八戸市が各2件、つがる市、上北郡、三戸郡が各1件となった。また、倒産要因は販売不振が5件、過小資本、既往のシワ寄せが各1件となった。

当月の県内企業倒産は、青森市で宿泊業の大型倒産が1件発生し、負債総額を押し上げたものの、件数は1ケタ台と小康状態にある。



業種別・原因別件数 (平成22年1月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業	3	過小資本	1
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業	1	既往のシワ寄せ	1
小売業	1	信用低下	
不動産業		販売不振	5
運輸・通信業		売掛金回収難	
サービス業ほか	1	在庫状況悪化	
合計	7	設備投資過大	
		その他	
		合計	7

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

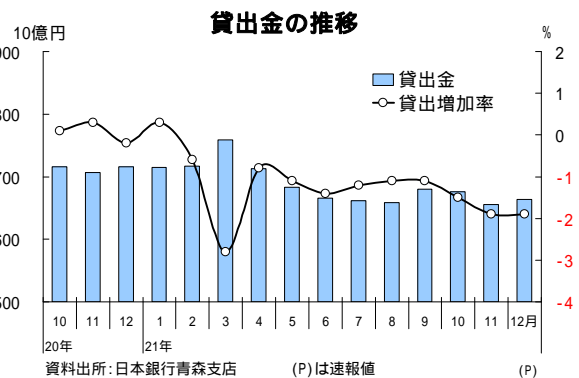
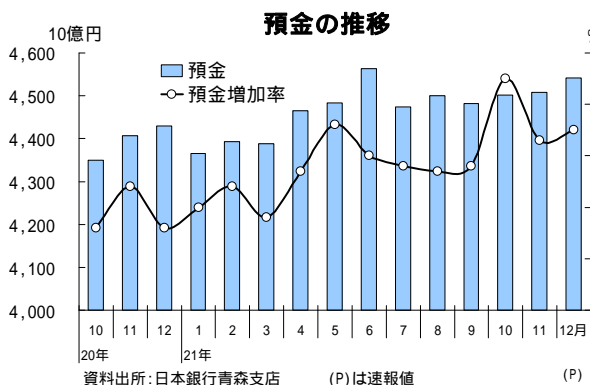
## 金融動向

### 預金 38 ヶ月連続のプラス

12月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.5%増の4兆5,423億円、貸出金は同1.9%減の2兆6,635億円となった。

預金は個人預金、公金預金が前年を上回って推移しているほか、法人預金がプラスに転じた。この結果、全体のプラス幅は前月比幾分拡大し、38ヶ月連続で前年を上回った。一方、貸出金は地公体向けがプラスで推移しているものの、個人向け、一般法人向けのマイナスが続いており、11ヶ月連続で前年を下回った。

県内の金融動向は、預金が前年を上回って推移している一方、貸出金は個人向け、法人向けで前年を下回る動きが続いている。



# 青森県景気動向指数

## 一致系列

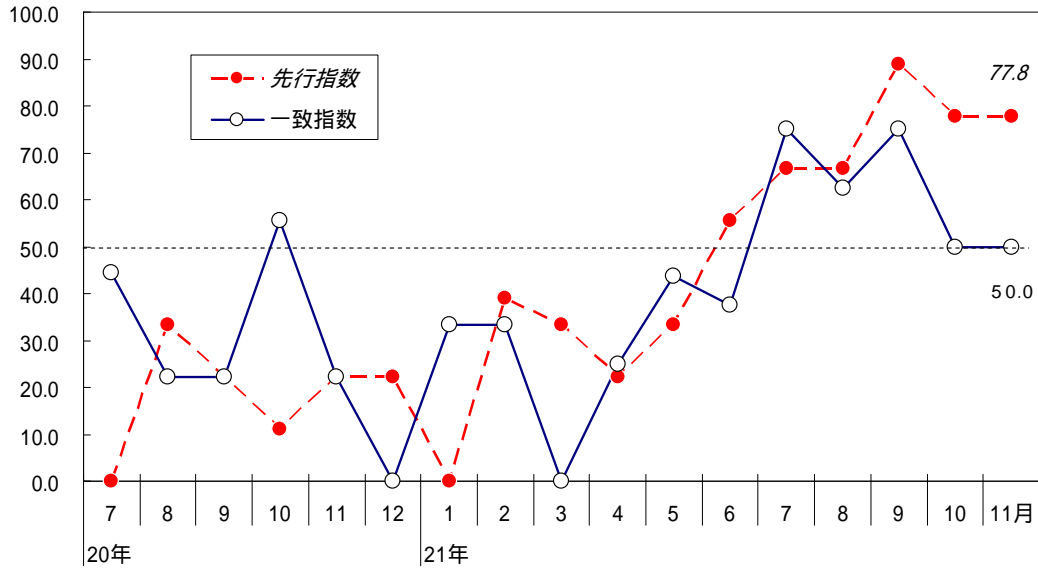
		大型小売店 販売額 (既存店)	鉱工業生産 指数	電気機械 生産指数	大口電力 使用量	有効求人数 (全数)	総実労働 時間数 (全産業)	海上出入 貨物量 (八戸港)	東北自動車 道IC利用 台数	日銀券 月中発行高
20年	11月									
	12月									
21年	1月									
	2月									
	3月									
	4月									
	5月									
	6月									
	7月									
	8月									
	9月									
	10月									
	11月									

(注1) 5カ月前と比べて改善した指標を、悪化した指標を、-は変化なし

(注2) 「東北自動車道IC利用台数」については、休日のETC割引実施の影響を受けるため、当面の間、判定に用いないこととする。

資料出所：県統計分析課

青森県景気動向指数の動き  
(先行指数・一致指数)



資料出所：県統計分析課

### 景気動向指数 (DI) とは

1. あらかじめ選定された景気に敏感な経済指標のうち、5カ月前と比べて上昇あるいは拡張を示している指標の割合を表す指数 (Diffusion Index)。DIには次の3指数がある。

- 一致指数・・・景気とほぼ一致して動くことから景気の現状判断に利用
- 先行指数・・・景気に先行して動くことから景気の予測に利用
- 遅行指数・・・景気に遅れて動くことから景気の確認に利用

一致指数が3カ月連続して50%を上(下)回る場合、景気は転換点を迎えたとみなされる。

2. DIの算出は、 $[( \text{指標数} \times 1) + ( - \text{指標数} \times 0.5)] \div \text{全指標数} \times 100$  で算出する。

## 国内景気

### 概況

国内景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。個人消費は持ち直しの動きが続いている。生産は持ち直している。輸出はアジア向けを中心に増加している。住宅建設は持家で持ち直しがみられる。雇用情勢は依然として厳しい。物価の動向を総合すると、緩やかなデフレ状況にある。

#### 大型小売店販売（既存店ベース）

##### - 21ヶ月連続のマイナス -

12月の大型小売店販売は前年同月比4.6%減と21ヶ月連続のマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同5.1%減、スーパーは同4.2%減となった。商品別にみると、衣料品が同6.3%減、飲食料品が同4.1%減、その他商品が同3.8%減となった。

#### 住宅建設

##### - 13ヶ月連続のマイナス -

12月の新設住宅着工戸数は前年同月比15.7%減の6万9,298戸と13ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別にみると、持家が同3.0%増と2ヶ月連続のプラスとなったものの、貸家は同22.7%減、分譲住宅は同27.4%減とそれぞれ13ヶ月連続のマイナスとなった。

#### 企業倒産

##### - 倒産件数5ヶ月連続で前年同月を下回る -

12月の企業倒産は件数が前年同月比16.6%減の1,136件、負債総額は同53.3%減の2,956億円となった。倒産件数は5ヶ月連続で前年同月を下回った。また、負債100億円以上の倒産が3件にとどまり、負債総額は平成21年では3番目に少ない金額となった。

#### 為替動向

##### - 1月末終値90円18銭 -

1月の東京為替市場は、前月末から反落の93円03銭でスタート。上旬は米景気回復への期待からドルが買われ91円台半ばまで円高が進んだが、菅直人財務相の「円安方向に進めばいい」との発言から93円台へ急落。中旬から下旬にかけては、米国の金融規制案の発表や米金利低下、中国の預金準備率引き上げ報道などから円が買われ、90円台に円高が進んだ。月末終値は90円18銭。

#### 鉱工業生産指数

##### - 10ヶ月連続の上昇 -

12月の鉱工業生産指数は前月比2.2%上昇の89.9(季節調整値)と10ヶ月連続の上昇。上昇に寄与したのは、電子部品・デバイス工業、一般機械工業等であった。品目別では電子・電動玩具、分析機器、反应用機器等であった。なお、生産予測調査によると、1月は一般機械工業、輸送機械工業等の上昇により当月比1.3%上昇を予測。

#### 新車販売（除く軽自動車）

##### 6ヶ月連続のプラス

1月の国内新車販売は前年同月比36.8%増の23万8,362台と6ヶ月連続のプラスとなった。内訳別では、乗用車が同42.8%増、貨物車は同9.0%減となった。乗用車は普通乗用車が同68.1%増と7ヶ月連続のプラス、小型乗用車は同25.2%増と6ヶ月連続のプラスとなった。

#### 完全失業率

##### 完全失業者数14ヶ月連続の増加

12月の完全失業率は前月比0.1ポイント低下の5.1%(季節調整値)となった。完全失業者数は前年同月比47万人増の317万人と14ヶ月連続の増加。離職者を求職理由別にみると、自己都合が同1万人減の97万人、リストラ等勤め先都合が同27万人増の104万人などとなった。

#### 消費者物価指数

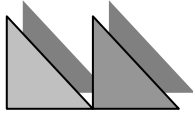
##### - 前月比0.2%、前年同月比1.7%下落 -

12月の全国消費者物価指数(2005年=100)は99.6となり前月比0.2%、前年同月比1.7%それぞれ下落となった。前月に比べ食料、家具・家事用品などが下落した。なお、生鮮食品を除く総合指数は99.8となり前月比0.1%、前年同月比1.3%それぞれ下落となった。

#### 国際収支

##### - 黒字幅拡大、前年同月比76.9%増 -

11月の経常収支額は1兆1,030億円となり、黒字幅は前年同月比76.9%増となった。所得収支の黒字幅が縮小し、サービス収支の赤字幅が拡大したものの、貿易収支が赤字から黒字に転じたことから全体の頃時幅が拡大した。内訳は、貿易収支が4,906億円、所得収支が7,328億円のそれぞれ黒字となった。一方、サービス収支は512億円、経常移転収支は693億円のそれぞれ赤字となった。



# 今月の統計

## 平成 21 年の八戸港水揚げ高

八戸市水産事務所の調べによると、平成 21 年の八戸港の水揚げ(概数)は、数量がスルメイカの豊漁により前年比 7.4%増の 13 万 9,275 トンと 3 年ぶりに増加に転じたものの、金額は魚価低迷により同 6.9%減の 216 億 9,411 万円となった。

全国の主要市場の水揚げランキングは、数量が銚子、金額は福岡といずれも前年に続きトップの座を守った。八戸港は数量で前年の 6 位から 3 位へ 3 ランク上昇、金額は 9 位から 7 位へ 2 ランク上昇した。平成 21 年は景気低迷の影響で魚価が低下し、水揚げ金額は上位 10 市場全てで前年を下回った。

平成 21 年全国主要市場水揚げ状況(概数)

数 量				金 額			
順位	市場名	(トン)	前年比(%)	順位	市場名	(億円)	前年比(%)
1(1)	銚子	223,739	11.2	1(1)	福岡	531	17.4
2(2)	焼津	192,173	9.4	2(2)	焼津	412	16.4
3(6)	八戸	139,275	7.4	3(4)	三崎	337	15.2
4(8)	釧路	126,059	0.3	4(3)	長崎	323	19.2
5(3)	長崎	122,774	19.8	5(5)	根室	236	17.8
6(4)	松浦	120,458	15.2	6(6)	銚子	234	22.6
7(12)	境港	119,036	11.0	7(9)	八戸	217	6.9
8(5)	石巻	114,756	15.2	8(7)	気仙沼	196	30.1
9(9)	根室	111,527	6.0	9(8)	松浦	192	20.6
10(10)	枕崎	111,005	1.5	10(13)	函館	174	21.0

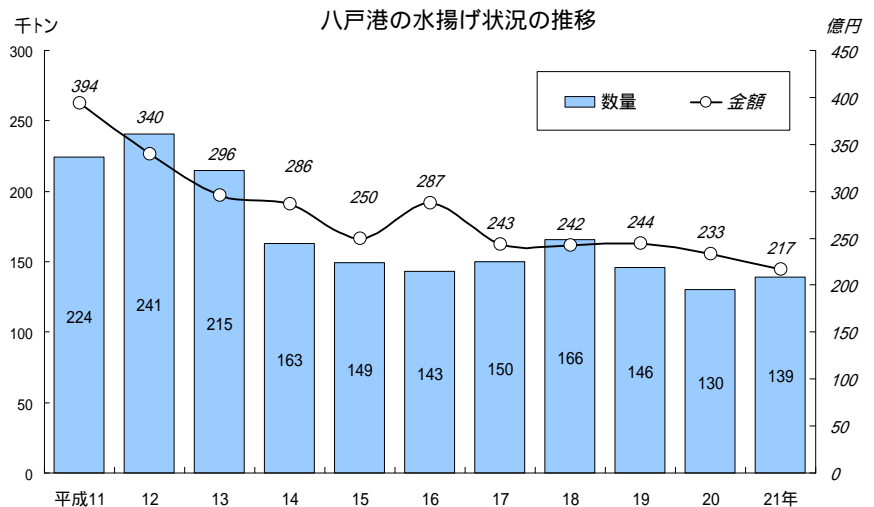
( )は前年確定値による順位。金額は税込み、は暫定値

八戸市水産事務所資料による

平成 21 年の八戸港の水揚げの内訳を主な漁業別にみると、主力のイカ釣り漁は、数量が前年比 6.3%増の 5 万 3,333 トンとなったものの、金額は同 3.6%減の 105 億 4,002 万円となった。前年と比べると、数量は近海生スルメイカが約 4 割、アメリカオオアカイカが約 2 割増加した。一方、平均単価はアメリカオオアカイカが約 4 割下落し、全体では前年比 9.4%定価の 1,976 円/10 kgとなった。

大中型旋網漁は、前年に比べサバの水揚げが約 1 割減少したものの、スルメイカやイナダが豊漁だったことから、数量が前年比 20.7%増の 5 万 2,212 トンとなり、金額は同 0.4%減の 41 億 3,148 万円とほぼ前年並みを確保した。

機船底引き網漁は、前沖のスルメイカ漁が順調に推移し、数量が同 9.5%増の 2 万 4,504 トンとなったものの、全体に魚価安となったことから金額は同 10.4%減の 47 億 991 万円にとどまった。



八戸市水産事務所資料による

県内経済

- 7日 **新日本石油、八戸市ポートアイランドにLNG輸入基地建設**  
石油元売り大手の新日本石油は、八戸市河原木地区のポートアイランドに液化天然ガス(LNG)の輸入基地を建設すると発表した。2010年度中に着工し、2015年4月の操業開始を目指す。
- 11日 **青森山田高校、全国高校サッカー準優勝**  
第88回全国高校サッカー選手権大会において、本県代表の青森山田高校が決勝に進出。山梨学院大付属高校に0-1で敗れ、惜しくも準優勝となった。  
**表参道で「とことん青森2010」**  
県と県観光連盟は、今年12月の東北新幹線新青森駅開業に向け、東京・渋谷区の表参道で観光キャンペーン「とことん青森2010」を開催。24日までの14日間、表参道約1.2キロの区間で、ねぶた運行や本県食材による料理の提供などにより本県の魅力をPRした。
- 18日 **高校卒業予定者の就職内定率、12月末現在で66.9%**  
青森労働局がまとめた2010年3月卒業予定の高校生に対する職業紹介状況(12月末現在)によると、求人数は前年同月比36.8%減3,855人と過去5年間で最低となった。また就職内定率は同9.7ポイント減の66.9%と7年ぶりに前年同月を下回った。
- 19日 **本県の2008年農業産出額2,828億円**  
農林水産省が発表した2008年の農業産出額によると、青森県の産出額は前年比1.0%減の2,828億円となり、全国順位は前年と同じ8位となった。果実が同13.8%減少したものの、畜産が同13.9%増加し、産出額全体ではほぼ前年並みとなった。
- 29日 **2009年の平均有効求人倍率0.29倍**  
青森労働局がまとめた2009年の一般職業紹介状況によると、年平均の有効求人倍率は前年比0.13ポイント低下の0.29倍となった。平均有効求人倍率が0.30倍を下回るのは2002年(0.29倍)以来7年ぶり。

国内経済

- 1日 **2009年の自然増減数、3年連続の減少**  
厚生労働省が公表した2009年の人口動態統計の年間推計によると、出生数が前年比2万2,000人減の109万9,000人、一方、死亡数は同2,000人増の114万4,000人と推計され、自然増減数は同2万4,000人減の7万5,000人と3年連続の減少。
- 14日 **大学生の就職内定率73.1%**  
文部科学省と厚生労働省のまとめによると、今春卒業予定の大学生の就職内定率(昨年12月1日現在)は前年同期比7.4ポイント減の73.1%となり、調査開始の1996年以降、最低となった。
- 19日 **日本航空、会社更生法を申請**  
日本航空は2子会社とともに東京地裁に会社更生法の適用を申請し、手続開始の決定を受けた。グループの負債総額は2兆3,221億円で、金融機関を除く事業会社としては過去最大の経営破綻となった。
- 20日 **1月の月例報告、基調判断を据え置き**  
菅直人経済財政担当相は1月の月例経済報告を閣議に提出し、景気は「持ち直してきているが、依然として厳しい状況」との基調判断を6ヶ月連続で据え置いた。
- 28日 **12月の輸出額、15ヶ月ぶりのプラス**  
財務省が発表した2009年12月の貿易統計速報(通関ベース)によると、輸出額は前年同月比12.1%となり、15ヶ月ぶりにプラスに転じた。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券 平均発行高 (億円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行 貸出約定 平均金利 (年利%)	企業倒産		鉱工業 生産指数 2005年 = 100	新設住宅 着工戸数 (戸)	公共工事 請負額 (億円)	大型小売店 販売額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)		件数 (件)	負債総額 (億円)				
2003(H15)	701,103	511,675	413,853	1.799	16,255	115,518	94.1	1,160,083	134,773	217,593
2004(H16)	715,020	518,681	404,000	1.732	13,679	78,177	98.7	1,189,049	114,803	214,672
2005(H17)	736,324	526,410	408,548	1.623	12,998	67,035	100.0	1,236,175	117,818	213,284
2006(H18)	744,033	528,667	415,577	1.766	13,245	55,006	104.3	1,290,391	95,710	211,450
2007(H19)	754,389	545,043	417,639	1.945	14,091	57,279	107.4	1,060,741	92,265	211,988
2008(H20)	760,537	557,055	436,848	1.865	15,646	122,920	103.8	1,093,485	95,815	209,511
2008(H20) 10	756,037	548,134	423,809	1.906	1,429	10,077	100.1	92,123	10,818	16,668
11	759,854	554,497	428,411	1.889	1,277	5,761	93.1	84,277	6,621	17,820
12	784,262	557,055	436,848	1.865	1,362	6,327	85.3	82,197	8,457	21,590
2009(H21) 1	779,825	554,956	433,735	1.824	1,360	8,390	76.7	70,688	5,432	18,069
2	761,880	559,071	434,557	1.795	1,318	12,292	69.5	62,303	7,658	14,518
3	765,414	567,747	437,537	1.776	1,537	10,782	70.6	66,628	15,898	16,514
4	764,847	567,707	433,783	1.756	1,329	5,219	74.8	66,198	3,927	15,960
5	768,223	565,972	433,094	1.746	1,203	5,399	79.1	62,805	4,961	16,185
6	758,829	570,988	430,585	1.703	1,422	4,771	80.9	68,268	8,101	16,029
7	762,666	565,033	429,099	1.697	1,386	3,710	82.6	65,974	8,505	17,360
8	759,799	564,256	426,508	1.694	1,241	2,842	83.9	59,749	8,094	15,696
9	758,706	565,973	429,087	1.680	1,155	3,088	85.7	61,181	12,721	14,935
10	756,165	562,005	426,508	1.680	1,261	2,903	86.1	67,120	8,946	15,611
11	757,397	566,623	425,373	1.674	1,132	6,948	88.0	68,198	7,238	16,216
12	781,778	569,485	428,567	1.655	1,136	2,956	P 89.9	69,298		P 20,693
前月比 %	3.2	0.5	0.8	-0.019% 引	0.4	-57.5	2.2	1.6	-19.1	2.7
前年同月比%	-0.3	2.2	-1.9	-0.210% 引	-16.6	-53.3	5.3	-15.7	9.3	-4.6
資料出所	日本銀行			東京商工リサーチ		経済産業省	国土交通省		経済産業省	

企業倒産は負債額1千万円以上

鉱工業生産指数の前年同月比は原指数による

大型小売店販売額の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

年次及び月	新車登録 届出数 (乗用車) (千台)	国内企業 物価指数 2005年 = 100	消費者 物価指数 2005年 = 100	景気動向 指数 (一致) 2005年 = 100	完全 失業率 (季調済) (%)	東証1部 平均株価 (円)	国際収支 (経常) (億円)	外貨 準備高 (年月末) (100万ドル)	東京 外為相場 (月中平均) (円 / US \$)	日経 商品指数 (月末42種) ('70年 = 100)
2003(H15)	4,460	97.1	100.3	-	5.3	9,303.80	157,668	673,529	115.94	111.260
2004(H16)	4,768	98.4	100.3	-	4.7	11,166.37	186,184	844,543	108.17	126.864
2005(H17)	4,748	100.0	100.0	-	4.4	12,411.93	182,591	846,897	110.21	138.398
2006(H18)	4,642	102.2	100.3	-	4.1	16,117.45	198,488	895,320	116.31	158.921
2007(H19)	4,400	104.0	100.3	-	3.8	16,990.46	247,938	973,365	117.77	172.334
2008(H20)	4,228	108.8	101.7	-	4.0	12,142.80	162,802	1,030,647	103.39	147.854
2008(H20) 10	315	109.5	102.6	96.1	3.7	9,117.03	9,796	977,723	100.33	173.662
11	296	107.5	101.7	93.2	3.9	8,531.45	6,236	1,002,861	96.81	158.652
12	253	106.3	101.3	90.6	4.4	8,463.62	1,629	1,030,647	91.28	147.854
2009(H21) 1	256	104.7	100.7	88.0	4.1	8,331.49	-1,327	1,010,958	90.41	143.107
2	325	104.2	100.4	85.2	4.4	7,694.78	11,348	1,009,354	92.50	139.699
3	463	104.0	100.7	84.8	4.8	7,764.58	15,346	1,018,549	97.87	139.827
4	236	103.4	100.8	86.2	5.0	8,767.96	6,606	1,011,473	99.00	143.336
5	245	102.9	100.6	87.4	5.2	9,304.43	13,114	1,024,012	96.30	141.840
6	319	102.5	100.4	88.6	5.4	9,810.31	12,794	1,019,175	96.52	144.971
7	372	102.9	100.1	90.0	5.7	9,691.12	13,292	1,022,657	94.50	146.320
8	264	102.9	100.4	91.6	5.5	10,430.35	11,829	1,042,340	94.84	150.133
9	389	102.9	100.4	93.2	5.3	10,302.87	15,767	1,052,598	91.49	148.890
10	340	102.1	100.0	94.3	5.1	10,066.24	P 13,976	1,056,769	90.29	151.725
11	369	102.1	99.8	96.0	5.2	9,640.99	P 11,030	1,073,712	89.19	151.370
12	322	P 102.2	99.6	P 97.6	P 5.1	10,169.01		1,049,397	89.55	153.228
前月比 %	-12.8	0.1	-0.2	-	-0.1% 引	5.5	-21.1	-2.3	0.4	1.2
前年同月比%	27.3	-3.9	-1.7	-	0.7% 引	20.1	76.9	1.8	-1.9	3.6
資料出所	自販協連合会	日本銀行	総務省	内閣府	総務省	日経新聞社	財務省		日本銀行	日経新聞社

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行 (-) 還収超額 (億円)	県内金融機関		企業倒産		手形交換高 (百万円)	不渡手形 実数 (百万円)
	(人)	社会動態(人) (転入・転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)		
2003(H15)	1,467,047	-5,295	-431	43,499	30,483	129	29,559	881,441	1,791
2004(H16)	1,459,478	-6,907	-1,056	43,568	29,378	118	54,410	822,092	1,791
2005(H17)	1,449,732	-7,491	-283	42,940	28,748	120	25,451	790,713	2,082
2006(H18)	1,434,936	-9,224	-372	43,241	27,627	119	34,015	768,362	1,499
2007(H19)	1,421,519	-9,993	-557	43,546	28,374	102	30,332	770,111	1,408
2008(H20)	1,406,738	-9,993	-601	43,889	27,585	135	54,700	613,664	4,403
2008(H20) 11	1,394,366	-129	151	44,072	27,064	13	5,798	37,086	420
12	1,393,670	-158	-449	44,298	27,158	10	9,294	54,786	342
2009(H21) 1	1,392,976	-353	455	43,647	27,146	11	21,768	42,907	732
2	1,392,029	-308	-78	43,935	27,169	5	490	40,929	399
3	1,391,164	-5,053	-45	43,889	27,585	5	1,569	57,399	576
4	1,385,598	-65	-315	44,649	27,131	10	1,054	45,917	129
5	1,385,096	-182	158	44,830	26,833	9	2,450	31,669	65
6	1,384,450	-9	-130	45,632	26,657	12	2,870	48,196	190
7	1,383,903	-32	165	44,745	26,615	8	1,052	39,000	121
8	1,383,441	7	-50	45,010	26,590	12	3,457	38,771	78
9	1,383,069	-140	-37	44,826	26,800	8	723	40,185	66
10	1,382,517	-75	-67	45,019	26,761	11	3,888	29,088	113
11	1,381,946	-47	-54	45,075	26,551	7	1,208	43,002	71
12	1,381,400	-29	-517	P 45,423	P 26,635	4	327	35,099	57
2010(H22) 1	1,380,834					7	4,051		
前月比 %	-0.0	-	-	0.8	0.3	75.0	1,138.8	-18.4	-19.7
前年同月比%	-0.9	-	-	2.5	-1.9	-36.4	-81.4	-35.9	-83.3
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		東京商工リサーチ		青森県銀行協会		

人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数  
 日銀券の年次計数は年度累計  
 実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高  
 企業倒産は負債額1千万円以上  
 手形交換高、不渡手形実数の年次の欄は年度計数

年次及び月	鉱工業 生産指数 (季調済) 2005年 = 100	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	公共工事請負額 (百万円)		新規求人 倍率 (倍)	有効求人 倍率 (倍)
		総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)		(百万円)	うち県分 (百万円)		
2003(H15)	92.2	9,625	5,131	3,625	1,074	225,920	104,210	0.52	0.32
2004(H16)	96.8	8,971	4,788	3,635	964	231,700	86,268	0.57	0.37
2005(H17)	100.0	7,558	4,242	2,682	841	195,425	74,883	0.67	0.44
2006(H18)	104.2	7,574	4,316	2,760	840	187,569	68,377	0.71	0.48
2007(H19)	110.2	6,139	3,562	2,188	687	188,540	66,071	0.69	0.47
2008(H20)	107.3	6,457	3,305	2,630	672	172,034	60,381	0.57	0.38
2008(H20) 11	100.8	479	269	186	48	9,536	3,401	0.52	0.35
12	81.7	567	156	342	48	7,764	2,610	0.59	0.36
2009(H21) 1	85.4	234	102	109	21	6,084	2,631	0.49	0.35
2	81.4	255	92	143	25	5,405	1,363	0.42	0.28
3	76.0	495	178	305	40	11,199	2,376	0.51	0.28
4	83.1	512	358	147	60	31,491	8,948	0.45	0.27
5	83.7	510	349	135	62	7,081	2,864	0.51	0.26
6	79.8	514	312	187	53	16,175	6,135	0.55	0.29
7	94.0	526	317	170	61	25,051	5,735	0.46	0.27
8	97.3	452	303	135	56	19,568	9,758	0.60	0.29
9	98.9	454	290	129	52	27,905	13,960	0.57	0.29
10	94.0	353	242	94	39	18,264	6,221	0.49	0.28
11	P 98.0	445	242	173	45	9,746	1,515	0.53	0.29
12		606	217	357	51	9,872	3,605	0.53	0.30
前月比 %	4.3	36.2	-10.3	106.4	13.3	1.3	138.0	0.00 <sup>※</sup> イト	0.01 <sup>※</sup> イト
前年同月比%	-1.3	6.9	39.1	4.4	6.3	27.2	38.1	-0.06 <sup>※</sup> イト	-0.06 <sup>※</sup> イト
資料出所	県統計分析課	県建築住宅課			東日本建設業保証		青森労働局		

鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による  
 求人倍率の年次の欄は年度計数  
 公共工事請負額の年次の欄は年度計数

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	大型小売店 販売額 (百万円)	新車 登録台数 (台)	乗用車登録 届出台数 (台)	消費者 物価指数 2005年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	雇用保険		青森県景気 ワッチャー調査 (現状判断DI)	あおぎん BSI
						受給人員 (人)	受給金額 (百万円)		
2003(H15)	192,433	35,493	48,644	100.1	293,589	196,437	29,584	-	-
2004(H16)	184,957	33,711	47,807	100.0	308,706	178,484	25,464	-	-
2005(H17)	180,137	32,986	47,026	100.0	286,255	168,420	23,479	-	-
2006(H18)	175,587	30,755	46,385	100.2	299,079	158,530	21,959	-	-
2007(H19)	172,288	29,096	44,637	99.9	286,305	141,530	18,495	-	-
2008(H20)	172,323	27,157	42,722	99.9	291,752	143,144	17,926	-	-
2008(H20)11	13,799	1,966	2,993	101.9	281,530	9,105	976	-	-
12	16,056	1,270	2,094	101.1	361,710	10,864	1,249	-	-
2009(H21)1	16,940	1,428	2,537	100.7	286,144	19,073	3,016	13.0	-41.3
2	12,851	1,871	3,298	100.2	343,292	16,099	2,056	-	
3	13,939	3,333	5,647	100.4	300,598	14,024	1,670	-	-43.6
4	13,466	1,769	2,935	100.3	344,718	15,679	1,966	24.5	
5	13,400	1,727	2,832	100.2	288,713	16,636	1,955	-	-35.0
6	13,162	2,257	3,338	100.1	252,392	16,263	1,849	-	
7	13,744	2,844	3,848	100.3	305,813	14,990	1,814	37.0	-35.0
8	14,736	1,799	2,643	100.4	322,959	13,710	1,506	-	
9	12,576	2,807	4,183	100.9	313,639	12,052	1,415	-	-26.4
10	12,611	2,567	3,701	100.0	263,198	10,562	1,159	37.5	
11	12,807	2,605	3,491	99.5	245,526	9,846	1,025	-	-26.4
12	P 15,506	1,922	2,739	99.9	364,165	10,656	1,189	-	
前月(期)比%	-	-26.2	-21.5	0.4	48.3	8.2	16.0	0.5ポイント	8.6ポイント
前年同月(期)比%	-4.8	51.3	30.8	-1.2	0.7	-1.9	-4.8	-	-
資料出所	東北経産局	自販協連合会青森県支部	県統計分析課	総務省	青森労働局	県統計分析課	青森銀行		

大型小売店販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

雇用保険の年次の値は年度計数

年次及び月	りんご			漁業 (八戸港水揚高)		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)	
	出荷量 (ト)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (ト)	金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)
2003(H15)	282,412	268	158	148,703	24,973	8,219	45,365	62,824	100,993
2004(H16)	267,724	312	196	142,787	28,689	11,667	45,253	65,236	106,412
2005(H17)	270,487	265	166	149,899	24,335	11,876	44,996	70,766	119,970
2006(H18)	294,887	288	173	166,437	24,155	12,033	79,281	101,020	143,467
2007(H19)	297,834	282	184	146,385	24,442	10,837	65,441	127,210	172,534
2008(H20)	312,042	234	136	129,647	23,303	14,006	38,625	144,341	166,974
2008(H20)11	23,482	209	145	15,564	2,572	927	2,609	6,597	10,913
12	26,710	236	103	8,017	1,820	802	1,404	13,475	10,939
2009(H21)1	35,541	209	88	6,319	1,472	802	1,394	10,452	9,325
2	37,549	207	99	4,598	1,090	833	1,152	8,101	7,201
3	41,785	220	108	4,911	1,493	718	819	8,519	7,368
4	35,800	230	148	2,857	588	553	2,064	10,805	8,907
5	27,539	260	-	3,427	662	1,097	1,015	8,370	9,576
6	18,833	278	-	4,233	600	1,022	1,437	7,372	8,379
7	12,857	329	-	13,406	2,560	813	1,415	9,821	10,200
8	4,111	348	-	18,848	2,746	688	4,042	10,459	5,949
9	24,814	186	121	33,463	3,041	844	869	5,713	8,097
10	23,337	206	161	24,529	3,118	943	982	6,101	9,663
11	22,133	226	136	13,560	2,404	770	2,235	12,463	9,167
12	26,377	243	126	9,122	1,921	610	1,976	10,646	10,137
前月比 %	19.2	7.5	-7.4	-32.7	-20.1	-20.8	-11.6	-14.6	10.6
前年同月比%	-1.2	3.0	22.3	13.8	5.5	-23.9	40.7	-21.0	-7.3
資料出所	県りんご果樹課			八戸市水産事務所		函館税関、青森支署・八戸支署			

りんご年次欄はりんご年度の計数

### 青森県の主要経済指標・各種統計 3

年次及び月	青森県の気象(青森地方気象台)			パスポート 発行件数
	気温 (度C)	降水量(ml)	日照時間(h)	(件)
2008(H20)	10.7	1,085.0	1,642.4	16,095
2008(H20)11	6.9	117.5	98.5	1,252
12	2.7	182.0	64.9	1,325
2009(H21)1	-0.1	127.5	65.6	1,716
2	0.2	135.5	67.1	1,410
3	2.6	77.0	124.8	1,619
4	9.0	113.5	211.2	1,655
5	14.2	48.5	211.4	1,006
6	17.3	76.0	146.6	1,260
7	20.8	258.5	124.6	1,380
8	21.9	118.0	142.1	1,660
9	18.4	109.0	172.4	1,502
10	13.9	151.0	167.7	1,359
11	7.5	116.0	88.5	1,110
12	1.4	129.0	41.7	1,342
前月比%	-6.1度C	13.0ml	-46.8h	20.9
前年同月比%	-1.3度C	-53.0ml	-23.2h	1.3
資料出所	青森地方気象台			外務省

### 県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	地区別業況BSI		
	青森地区	津軽地区	県南地区
2007(H19)			
1~3月	-20.3	-10.5	-3.2
4~6月	-25.4	-9.3	-25.5
7~9月	-21.9	2.0	-20.7
10~12月	-25.4	-33.3	-25.9
2008(H20)			
1~3月	-29.1	-39.6	-30.5
4~6月	-35.0	-52.1	-35.2
7~9月	-44.6	-40.4	-14.3
10~12月	-50.9	-72.7	-29.4
2009(H21)			
1~3月	-32.1	-54.2	-39.1
4~6月	-52.6	-32.6	-43.4
7~9月	-35.2	-11.4	-52.5
10~12月	-35.7	-9.8	-29.4
2010(H22)			
1~3月	-51.8	-34.1	-41.2
資料出所	青森銀行BSI('10.1~3月期は見通し)		

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2008(H20)11	304,016	184,274	239,796	487	184	440	101	75	114
12	303,834	184,226	239,792	356	129	218	143	123	95
2008(H21)1	303,662	184,145	239,813	380	182	274	43	40	72
2	303,523	184,081	239,660	511	189	373	44	67	58
3	303,277	183,931	239,608	940	429	593	206	33	123
4	302,141	182,719	238,742	436	170	393	140	48	117
5	302,503	183,298	238,729	435	197	383	104	64	126
6	302,437	183,206	238,654	603	243	452	126	84	120
7	302,324	183,072	238,596	742	316	587	112	66	111
8	302,385	183,129	238,510	439	225	370	100	44	83
9	302,305	183,134	238,421	689	327	563	82	45	153
10	302,143	183,041	238,380	607	283	544	58	49	96
11	302,068	182,966	238,316	554	256	605	60	61	156
12	301,982	182,919	238,188	470	208	387	107	94	141
2009(H22)1	301,793	182,938	238,087						
前月比%	-0.1	0.0	-0.0	-15.2	-18.8	-36.0	78.3	54.1	-9.6
前年同月比%	-0.6	-0.7	-0.7	32.0	61.2	77.5	-25.2	-23.6	48.4
資料出所	青森県統計分析課			自販協連合会青森県支部			青森県建築住宅課		

年次及び月	有効求人倍率 職業安定所別			企業倒産					
				青森市		弘前市		八戸市	
	青森市	弘前市	八戸市	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
2008(H20)11	0.25	0.39	0.48	4	4,010	2	230	0	0
12	0.19	0.25	0.36	4	7,574	0	0	1	110
2008(H21)1	0.16	0.26	0.27	4	815	0	0	2	19,796
2	0.19	0.19	0.27	2	170	1	30	0	0
3	0.22	0.23	0.28	0	0	2	1,300	0	0
4	0.19	0.20	0.24	0	0	0	0	3	174
5	0.19	0.18	0.24	6	1,960	0	0	0	0
6	0.21	0.22	0.26	7	556	1	14	2	2,030
7	0.22	0.20	0.26	4	662	0	0	0	0
8	0.23	0.25	0.32	5	780	2	260	3	1,250
9	0.24	0.32	0.35	3	250	1	210	1	146
10	0.24	0.35	0.33	2	170	2	1,030	1	1,800
11	0.22	0.32	0.32	3	460	0	0	2	328
12	0.17	0.19	0.24	1	30	1	50	0	0
2009(H22)1				2	2,365	0	0	2	290
前月比%	-0.05 ポイント	-0.13 ポイント	-0.08 ポイント	100.0	7,783.3	-100.0	-100.0	-	-
前年同月比%	-0.02 ポイント	-0.06 ポイント	-0.12 ポイント	-50.0	-68.8	-	-	100.0	163.6
資料出所	青森労働局			東京商工リサーチ青森支店					

有効求人倍率は原数値による